

「自己資本の構成に関する開示事項」

みずほ銀行【単体】
平成29年9月末

(単位：百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成29年9月末	経過措置による 不算入額	平成28年9月末	経過措置による 不算入額	
普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目 (1)						
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	6,046,238		5,857,976		
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	3,690,389		3,690,389		
2	うち、利益剰余金の額	2,355,849		2,167,586		
1c	うち、自己株式の額 (Δ)	-		-		
26	うち、社外流出予定額 (Δ)	-		-		
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-		
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-		-		
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	1,058,096	264,524	794,080	529,386	
	経過措置により普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-		
6	普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,104,335		6,652,056		
普通株式等Tier1 資本に係る調整項目 (2)						
8+9	無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	439,633	109,908	288,617	192,411	
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外のものの額	439,633	109,908	288,617	192,411	
10	繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-	
11	繰延ヘッジ損益の額	Δ 12,821	Δ 3,205	128,581	85,721	
12	適格引当金不足額	55,223	13,802	60,359	40,201	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-	
15	前払年金費用の額	274,862	68,715	197,964	131,976	
16	自己保有普通株式 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-	
20	うち、無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに 限る。)に 関連するものの額	-	-	-	-	
21	うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に 関連するものの額	-	-	-	-	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に 該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-	
24	うち、無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに 限る。)に 関連するものの額	-	-	-	-	
25	うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に 関連するものの額	-	-	-	-	
27	その他Tier1 資本不足額	-		-		
28	普通株式等Tier1 資本に係る調整項目の額 (ロ)	756,897		675,523		
普通株式等Tier1 資本						
29	普通株式等Tier1 資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	6,347,437		5,976,532		
その他Tier1 資本に係る基礎項目 (3)						
30	31a	その他Tier1 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	-	
	31b	その他Tier1 資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	-	
	32	その他Tier1 資本調達手段に係る負債の額	1,220,000		760,000	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1 資本調達手段の額	-		-	
33+35	適格旧Tier1 資本調達手段の額のうちその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に 含まれる 額	577,504		577,504		
	経過措置によりその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの 額の合計額	-		71		
	うち、為替換算調整勘定の額	-		71		
36	その他Tier1 資本に係る基礎項目の額 (ニ)	1,797,504		1,337,575		
その他Tier1 資本に係る調整項目						
37	自己保有その他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
40	その他金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	36,963	9,240	55,445	36,963	
	経過措置によりその他Tier1 資本に係る調整項目の額に算入されるものの 額の合計額	6,902		20,119		
	うち、のれん相当額	-		-		
	うち、企業結合等により計上される無形固定資産相当額	-		-		
	うち、証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-		-		
	うち、内部格付手法採用行において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50% 相当額	6,902		20,119		
42	Tier2 資本不足額	-		-		
43	その他Tier1 資本に係る調整項目の額 (ホ)	43,866		75,564		
その他Tier1 資本						
44	その他Tier1 資本の額 ((ニ) - (ホ)) (ヘ)	1,753,637		1,262,010		
Tier1 資本						
45	Tier1 資本の額 ((ハ) + (ヘ)) (ト)	8,101,075		7,238,543		

(単位：百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成29年9月末	経過措置による 不算入額	平成28年9月末	経過措置による 不算入額
Tier2 資本に係る基礎項目 (4)					
46	Tier2 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	-	-
	Tier2 資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	-	-
	Tier2 資本調達手段に係る負債の額	997,665	-	647,520	-
	特別目的会社等の発行するTier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
47+49	適格旧Tier2 資本調達手段の額のうちTier2 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	762,578	-	876,816	-
50	一般貸倒引当金Tier2 算入額及び適格引当金Tier2 算入額の合計額	1,162	-	1,610	-
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2 算入額	1,162	-	1,610	-
50b	うち、適格引当金Tier2 算入額	-	-	-	-
	経過措置によりTier2 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	165,366	-	278,907	-
	うち、その他有価証券の貸借対照表計上額から帳簿価額を控除した額の45%相当額	146,371	-	240,379	-
	うち、土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	18,994	-	38,527	-
51	Tier2 資本に係る基礎項目の額 (チ)	1,926,772	-	1,804,854	-
Tier2 資本に係る調整項目					
52	自己保有Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
55	その他金融機関等のTier2 資本調達手段の額	72,000	18,000	177,000	118,000
	経過措置によりTier2 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	6,902	-	20,119	-
	うち、金融機関等の資本調達手段の額	-	-	-	-
	うち、内部格付手法採用行において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	6,902	-	20,119	-
57	Tier2 資本に係る調整項目の額 (リ)	78,902	-	197,119	-
Tier2 資本					
58	Tier2 資本の額 (チ) - (リ) (ヌ)	1,847,869	-	1,607,734	-
総自己資本					
59	総自己資本の額 (ト) + (ヌ) (ル)	9,948,945	-	8,846,278	-
リスク・アセット (5)					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	205,999	-	450,931	-
	うち、無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)に関連するものの額	109,908	-	192,411	-
	うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)に関連するものの額	-	-	-	-
	うち、前払年金費用に関連するものの額	68,715	-	131,976	-
	うち、金融機関等の資本調達手段に関連するものの額	27,375	-	126,542	-
60	リスク・アセットの額の合計額 (ヲ)	53,719,682	-	54,032,827	-
自己資本比率					
61	普通株式等Tier1 比率 (ハ) / (ヲ)	11.81%	-	11.06%	-
62	Tier1 比率 (ト) / (ヲ)	15.08%	-	13.39%	-
63	総自己資本比率 (ル) / (ヲ)	18.52%	-	16.37%	-
調整項目に係る参考事項 (6)					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	516,793	-	477,985	-
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	139,698	-	139,774	-
74	無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-	-	-
75	繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	119,516	-	34,212	-
Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (7)					
76	一般貸倒引当金の額	1,162	-	1,610	-
77	一般貸倒引当金に係るTier2 資本算入上限額	3,692	-	3,797	-
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額 (当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-
79	適格引当金に係るTier2 資本算入上限額	291,725	-	290,163	-
資本調達手段に係る経過措置に関する事項 (8)					
82	適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額	734,396	-	881,276	-
83	適格旧Tier1 資本調達手段の額から適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額 (当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-
84	適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額	798,214	-	957,856	-
85	適格旧Tier2 資本調達手段の額から適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額 (当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-